

社会参加、社会復帰にむけて

# やまゆり共同作業所は活動しています

12月3日から12月9日は障害者週間です。

障害者週間は、皆さんに

広く障がい者の福祉についての関心と

理解を深めてもらうとともに、

障がいのある方が社会、経済、文化その他

あらゆる分野の活動に積極的に

参加する意欲を高めることを目的としています。

御代田町では、やまゆり共同作業所で、

社会参加、社会復帰にむけて活動しています。



やまゆり共同作業所は平成4年4月から活動を開始し、現在の作業所は、平成17年4月に開所されました。活動開始以来、ここに障がいのある方が通い、現在の作業所になつてからは、知的障がいの方、身体障がいの方も通所し、様々な作業に取り組んでいます。

作業所の一日は朝の会を行い、午前10時から作業に入り始まります。主な作業としては、果物の下加工、公共団体から委託を受けた庁舎内の清掃などを行っています。また、カゴ・雑巾などを製作し、自主制作品としての販売も行っています。先日は図書館フェスティバルに参加し好評を得ました。他にも機械等の清掃に使うウエスの製造も行っています。「作業所」と名前がついているからといって収入を得るためだけに活動をしているわけではありません。生活訓練の一環として調理実習や、買い物、社会参加に向けた活動を行い、家の中にこもりがちな障がいのある

平成17年4月開所 やまゆり共同作業所





みんなで支え合いながら作業しています。



キーホルダー・ストラップなど  
自主製作品を展示販売しています。

**精神保健福祉ボランティア**  
現在30名の方が登録されています。主に、やまゆり共同作業所の作業をお手伝いしていただきます。研修会等へも参加いただき、精神保健福祉に対する理解を深めています。

**居宅サービス**  
買い物や清掃などの家事援助や、通院介助などの身体介護を行います。

**家族会**  
毎月定例会を開き、学習会、バザーの開催などを通して、家族が共に助け合い、精神障がい者の社会参加と自立を支援します。

**精神デイケア**  
週1回、音楽療法、野外活動、他市町村との交流会などを行っています。

**町では、他にも次のような精神福祉活動や事業を行っています**

方が、作業所での生活を通して、くらしのリズムを整え、自信を取り戻し、仲間と一緒に時間を過ごすことよって、ここからからだを健康に保つ役割も担っています。  
作業所には現在、一日に10数人が通い、日によって作業内容は違いますが、生き生きと活動しています。そして作業所内では、丹精込めて作られた製品の展示販売も行っていますので、ぜひお立ち寄りください。



かわいい作品もあります。

**作業所よりお願い**

○どうきんにするタオルを集めています。未使用のものであれば名前、柄が入っていても構いません。ご協力をお願いします。  
○一緒に作業をしたり、話をしたいだけ、ボランティアスタッフを募集しています。

**精神障がい者の皆さまへ**

11月から自立支援医療や精神障害者福祉手帳の手続きをするときの窓口が、保健センターから町民課福祉係へ移りました。ご注意ください。

**問い合わせ先**

保健センター (32) 2554  
やまゆり共同作業所 (32) 1118

**町民課福祉係**

(32) 3111 (内線44・45)